

議案第37号 工事請負契約の締結について (令和元年度松田町民文化センターESCO事業) 【討論】

反対討論 (要旨)

寺嶋 正 議員

議案第37号松田町民文化センターESCO事業の工事請負契約の締結について、反対の立場から討論を行います。

松田町民文化センターの機器の更新を実施すると、全ての費用を町の一般財源で賅わなければならない、多額の費用負担が発生します。現在使用している給水冷温水器や空調機、変圧器等は、建設当初から使用しているもので、機器を更新する事で二酸化炭素排出量の削減が見込めることから、ESCO事業として申請する事で、国の補助金(二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金)の対象としたことはわかります。

しかし、疑問なのは、2016年度に国の補助金を利用できることがわかっているのに、今回の対象機器をESCO事業化するまで3年余も経過していることは、町の怠慢であると思います。実際に、ESCO事業のスケジュールは、2019年3月6日に公募型プロポーザルの募集事項を、町公式サイトで公開したのが始まりであります。

次に、事業者を募るまでの経過では、事業者の現場ウォークスルー調査を実施し、参加表明書及び資格確認書類の受付期間の3月22日にJAG国際エナジー(株)のみ1者が参加表明しました。ESCO事業審査委員会でJAG国際エナジー(株)を最優秀提案者に選定しました。ここで問題なのは、国の補助金を当て込み、工事終了期間が2020年2月末までの完成が条件ということで、1者の随意契約にし、競争に至らなかったことが気がかりであります。

次に、7月12日に国の補助金交付申請を行い、補助金決定後の8月23日に事業費を計上した一般会計補正予算を町議会に提案しました。議会の特別委員会では継続審査になり、任期中の町議会で可決を目指して審査再開を求める特別委員会は開かれましたが、臨時会は日程などが折り合わず、開催されませんでした。改選後の10月3日に臨時会が開かれ、9月30日付で専決処分をした町民文化センター改修工事費を盛り込んだ補正予算は賛成少数で不承認としました。

今までの経過の事態を重く見て、納得のいかないことばかりであります。

今回提案されている町民文化センターESCO事業の工事請負契約は随意契約で、請負代金は1億5,000万円となっております。事業者の当初見積金額は2億6,000万円で、その後、事業者と町の協議で3回も事業費の金額が変更されてきました。これも、またまたおかしなもので、私としては疑問が募るばかりであります。工事費1億5,000万円で、財源内訳は国の補助金6,560万円と地方債6,400万円、一般財源2,140万円となっており、決して安く上がる事業ではないことを指摘します。そのほかにESCOサービス料を支払うこととなります。また、工事期間は令和2年3月31日となっておりますが、補助金交付は令和2年2月末までの完成が条件となっており、矛盾していると思います。

以上のことから賛成できないことを申し上げて反対討論といたします。

賛成討論 (要旨)

平野 由里子 議員

賛成討論をさせていただきます。この工事請負契約締結について、賛成の立場で討論いたします。

私の基本的な考えは、10月3日臨時会での専決処分の承認への賛成討論のときと、ほぼ変わっておりません。プロセスに何も問題がなかったとは言いませんが、文化センターの安心・安全を担保するこの事業は進めるべきだと思います。平成24年度の町民文化センターのあり方検討会、実は私も利用団体代表として出席しておりましたが、その頃町側からは、先ほど遠藤課長おっしゃっていましたが、今後、改修や補修に全部で5億円以上必要になるという説明がありました。本当にこれを聞いたときには、委員全員でちょっと希望が無いというか、本当にショックというか、そんなに大変なのかというふうに思ったんです。結局5回ほど検討会ありましたけども、最終回に報告書を出しましたが、そこでは町民の文化活動の停滞を招かないよう配慮しつつ、最低限の延命措置を講ずることしか提言ができませんでした。つまりは、そんなお金は無いと、もうみんなわかっていたので、だましまし使っていくしかないというような、ちょっと本当に半端な報告書だったと言っても過言じゃないと思います。本当に参加してた委員の人たち、中には今でも連絡取り合ってる方がいらっしゃるんですけども、正直

本当にそれを聞いたときは、どうしようもないんだなというふうに暗澹たる気持ちになったものです。

その後、すぐに本山町長に代わりましてから、舞台技術者が常駐から派遣型に変更という事で、運営経費を圧縮することができました。それからその後、雨漏りが本当にひどくなってしまったんですけども。また、音響、照明も老朽化著しくて、扱いにくくなっていったんですけども、これは皆様のご存じのとおり、ポルダリングウォールを設置するという補助金事業によって、それも一緒に直すことができました。その時に、あ、あの時の5億円以上が必要になるんだと言われたあれの、部分的にはこれで少し何かカバーできたのかなと思ったんですけども。そして、それが今度は電気系統、空調関係の改修で、これも補助金事業が見つかったということなので、本当にこれはもともと連絡取り合っている、その時の委員の友達なんかにも話しましたけれども、もう本当にこれをやらない選択肢ないじゃないという感じでした。

昨今は地球温暖化で、台風などもひどくなっておりまして、そのことを考えても、CO2削減にも結び付くという事で、本当にこの事業の良さは、たぶん皆さん本当おわかりだと思うんですね。そういう意味で、是非これは事業としてはやっていただきたいと私は思って